

1 アナザーワールド:不思議でリアルな世界 展示室1-3 [2・3F]

2023年 3月4日[土] ▶ 6月18日[日]

本展示会は、まさに現在(いま)を生きる7名の作家によるガラス作品を、「アナザーワールド」としてご紹介するものです。ガラスという二面性を持つ素材ならではの表情を見せる作品、約70件が展示されます。現実と地続きにある「不思議でリアルな世界」との出会いを、どうぞお楽しみください。



木下結衣《蘇生 II》2021年 作家蔵 撮影:林周悟

2 日本近現代ガラスの源流 展示室1-3 [2・3F]

2023年 7月8日[土] ▶ 10月9日[月・祝]

国内では大正期から昭和初期にかけて、本格的に自己表現としてのガラス制作に取り組む作家が現れ始めます。戦後にはガラス会社に所属するデザイナーが数多く活躍する一方、独立した立場で制作を行う動きも次第に見られるようになっていきました。本展では日本の近現代ガラス表現の初期から発展期の流れを改めて追いながら、未踏の領域を切り開き、ガラス制作に情熱を燃やしてきた作家達による創造性豊かな作品の数々をご紹介します。



岩田藤七《花器》1960年 新宿歴史博物館蔵

3 宮永愛子 うた 詩を包む 展示室1-3 [2・3F]

2023年 11月3日[金・祝] ▶ 2024年 1月28日[日]

「変わりながらあり続ける」をテーマとして、ナフタリン、樹脂、ガラスの彫刻や塩、葉脈を用いたインスタレーション作品で注目を集める美術家、宮永愛子。何気ない日常の出来事を宮永は気づきとして掬い上げ、息を呑むような美しい作品へと昇華させます。本企画展「宮永愛子 詩を包む」の開催を機に、ガラスと対峙する時間を得た宮永は、人々を魅了するこの素材を用いて、水や空気、そして歴史を内包する新作を富山で発表します。それらの作品を前に、私たちは自らの記憶を結びつけ、思惟するのではないのでしょうか。宮永の表現に通底する日々を愛する眼差しに触れ、じんわりとした温かさで満たされる機会となれば幸いです。



宮永愛子(Strata)2018-19年 撮影:木奥恵三 ©MIYANAGA Aiko Courtesy of Mizuma Art Gallery

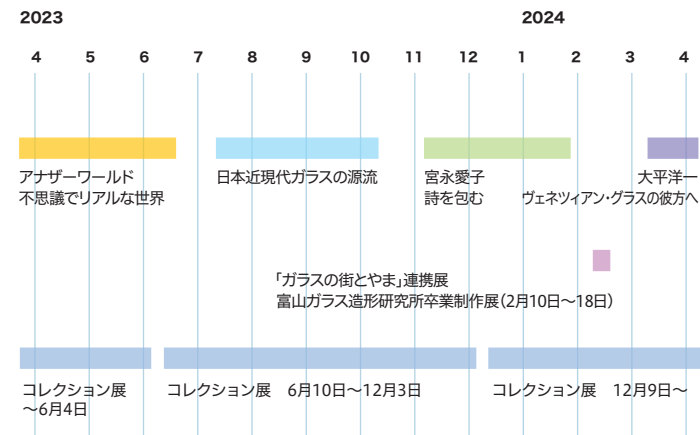
4 回顧展:大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 展示室1-3 [2・3F]

2024年 3月9日[土] ▶ 6月23日[日]

ガラス製造で栄華を極めた地、ヴェネツィア。1973年に26歳で渡欧した大平はかの地に活動拠点を構え、以後約37年間に渡りヴェネツィアン・ガラスの歴史を研究しつつ、その高度な技術をもつガラス職人達と共に作品を発表してきました。没後初の回顧展となる本展では、国内外の所蔵作品を始め、創作の源泉であるドロイングなど関連資料をあわせて展示します。日本とヴェネツィアの文化をつなぐ架け橋となるべく、新たなガラス表現の創造に半生を捧げた大平の活動を、デザイナーと研究者という2つの側面からご紹介します。



大平洋一(左)《モザイク・ガラス「輪」》1996年 (右)《モザイク小ガラス瓶「謝肉祭のマント」》1996年 富山市ガラス美術館蔵 撮影:末正真礼生



※記載内容は変更する場合があります。

コレクション展

展示室4、透ける収蔵庫 [4F]

富山市ガラス美術館所蔵の現代ガラス作品を展示します。社会の変化や次々に生み出された新しい価値観に呼応するような作品群が集結します。
(※定期的に展示替えを行います。)



リノ・タニアピエトラ(アフリカ)2014年
富山市ガラス美術館所蔵 撮影:末正真礼生

グラス・アート・パサージュ

[2F-4F]

富山ゆかりの作家20名による作品およそ50点を、2階から4階の展示室壁面や、4階の一般図書フロアに展示しています。

[観覧無料]

(※定期的に展示替えを行います。)



江波富士子(水)2014年
富山市ガラス美術館所蔵
撮影:末正真礼生

グラス・アート・ガーデン

[6F]

現代ガラスの巨匠デイル・チフリー氏によるインスタレーション(空間芸術)作品5点を展示しています。チフリー氏の代表的なシリーズの中でも、富山でしか見られないインスタレーションがご覧いただけます。



デイル・チフリー(トヤマ・フロート・ボート)2015年
H60×W917.5×D657.5cm 富山市ガラス美術館所蔵
©Chihuly Studio. All Rights Reserved.

ご利用案内

	開館時間	休館日
常設展 企画展	午前9時30分～午後6時 (金・土は午後8時まで)	第1、第3水曜日 年末年始※1
カフェ	午前10時～午後6時	水曜日 年末年始※1
ミュージアムショップ	午前9時30分～午後6時 (金・土は午後7時30分まで)	第1水曜日 年末年始※1
ギャラリー1・2	※2	※2

※1 休館日は記載内容と異なる場合がございます。
※2 ギャラリーの開場時間及び閉場日は展覧会により異なります。詳細は展覧会主催者へお問い合わせください。
○展示室の入場時間は閉場時間の30分前までとなります。
○展示替え等で休館する場合があります。

観覧料

	一般(団体)	大学生(団体)
常設展		
コレクション展(4F)	¥200(¥170)	¥200(¥170)
グラス・アート・ガーデン(6F)		
1 アナザーワールド展	¥1,000(¥800)	¥800(¥600)
2 日本近現代ガラスの源流展	¥1,200(¥1,000)	¥1,000(¥800)
企画展		
3 宮永愛子展	¥1,200(¥1,000)	¥1,000(¥800)
4 大平洋一展	¥1,200(¥1,000)	¥1,000(¥800)

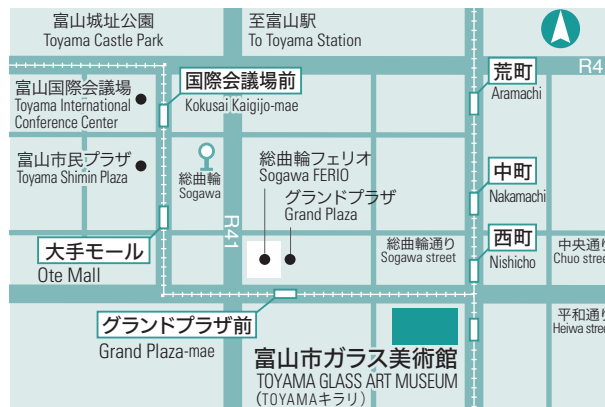
○団体は20名以上です。○企画展観覧券をご購入の方は常設展もご覧いただけます。
○常設展観覧券でコレクション展とグラス・アート・ガーデンをご覧いただけます。

下記に該当する方は常設展及び富山市主催の企画展観覧料が無料となります。

●高校生以下の方 ●富山市に住民登録がある70歳以上の方 ●お出かけ定期券又はシルバーパスカをご提示の65歳以上の方 ●身体障害者手帳、療育手帳、又は精神障害者保健福祉手帳をご提示の方及びその介助者(1名) ●団体引率者

アクセス

- 〈市内電車〉 富山駅から市内電車環状線にて約12分「グランドプラザ前」下車 徒歩約2分
富山駅から市内電車南富山駅前行きにて約12分「西町」下車 徒歩約1分
- 〈車・観光バス〉 富山I.Cより約20分 ※専用駐車場はありません。車又は観光バスでお越しの際は周辺駐車場をご利用ください。
- 〈空路〉 富山空港より地鉄バス(富山空港線)にて約20分「総曲輪」下車 徒歩約4分
- 〈自転車〉 自転車の駐輪場は「TOYAMA キラリ」の南東側にあります。自動二輪車はご利用いただけません。



TOYAMA 富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp
HP toyama-glass-art-museum.jp

2023.4 - 2024.3
年間スケジュール